

# 交付運用報告書

## DIAMケイマン・トラストー Aspect マネージド・ フューチャーズ・ファンド

ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／  
外国株式投資信託

米ドルクラス／豪ドルクラス／円クラス

作成対象期間：第12期(2022年12月1日～2023年11月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、DIAMケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド(以下「ファンド」といいます。なお、ファンドの名称について、「DIAMケイマン・トラストー」を省略することがあります。)は、このたび、第12期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。副投資顧問会社が、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産(株式、株価指数、債務証券(債券を含みます。)、通貨、金利および商品(エネルギー、金属および農産品を含みます。))を含みますが、これに限定しません。)の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

| 米ドルクラス         |            |      |               |
|----------------|------------|------|---------------|
| 1口当たり<br>純資産価格 | 純資産価額      | 騰落率  | 1口当たり<br>分配金額 |
| 第12期末          |            | 第12期 |               |
| 12.63米ドル       | 14,377千米ドル | 1.0% | 0.00米ドル       |

| 豪ドルクラス         |           |      |               |
|----------------|-----------|------|---------------|
| 1口当たり<br>純資産価格 | 純資産価額     | 騰落率  | 1口当たり<br>分配金額 |
| 第12期末          |           | 第12期 |               |
| 10.03豪ドル       | 1,014千豪ドル | 0.1% | 0.16豪ドル       |

| 円クラス           |             |       |               |
|----------------|-------------|-------|---------------|
| 1口当たり<br>純資産価格 | 純資産価額       | 騰落率   | 1口当たり<br>分配金額 |
| 第12期末          |             | 第12期  |               |
| 10,691円        | 4,134,322千円 | -3.9% | 0円            |

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。なお、米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額の期中合計額を記載しています。以下同じです。

\*ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されていますが、受益証券は、クラス建通貨である米ドル、豪ドルまたは日本円建てのため、本書の金額表示は別段の記載がない限り、米ドル、豪ドルまたは日本円をもって行います。

\*本書の中で金額および比率を表示する場合、適宜の単位に四捨五入している場合があります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、日本における販売会社までお問い合わせください。

**その他記載事項**  
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.pb.mufg.jp/>)にて電磁的方法により提供しております。

管理会社

クイーンズゲート

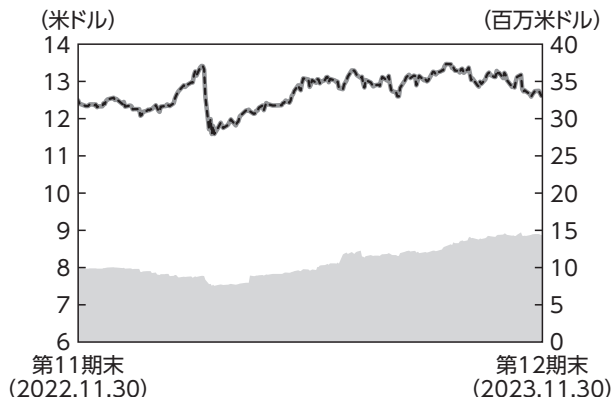
代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
株式会社

## 運用経過

## 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

## 米ドルクラス



第11期末の1口当たり純資産価格: 12.50米ドル

第12期末の1口当たり純資産価格: 12.63米ドル

第12期中の1口当たり分配金額 : 0米ドル

騰落率 : 1.0%  
(分配金再投資ベース)

■ 純資産価額 (右軸) — 1口当たり純資産価格 (左軸)  
 --- 分配金再投資1口当たり純資産価格 (左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

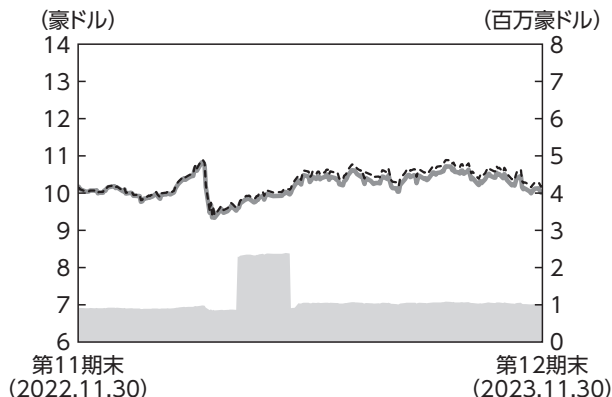
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

## 豪ドルクラス



第11期末の1口当たり純資産価格: 10.18豪ドル

第12期末の1口当たり純資産価格: 10.03豪ドル

第12期中の1口当たり分配金額 : 0.16豪ドル

騰落率 : 0.1%  
(分配金再投資ベース)

■ 純資産価額(右軸)    — 1口当たり純資産価格(左軸)  
--- 分配金再投資1口当たり純資産価格(左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

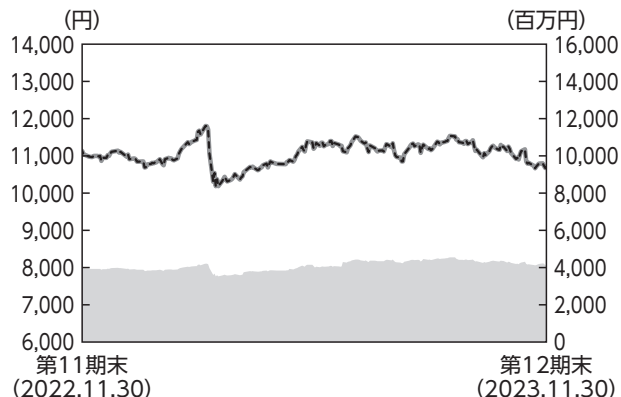
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

## 円クラス



第11期末の1口当たり純資産価格：11,129円

第12期末の1口当たり純資産価格：10,691円

第12期中の1口当たり分配金額：0円

騰落率：-3.9%  
(分配金再投資ベース)

■ 純資産価額 (右軸) — 1口当たり純資産価格 (左軸)  
 --- 分配金再投資1口当たり純資産価格 (左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは農産物市場におけるロングポジション、通貨市場におけるユーロに対する様々なポジションなどが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、株式市場におけるロングポジション、債券市場におけるショートポジションなどがマイナス要因となりました。

## 費用の明細

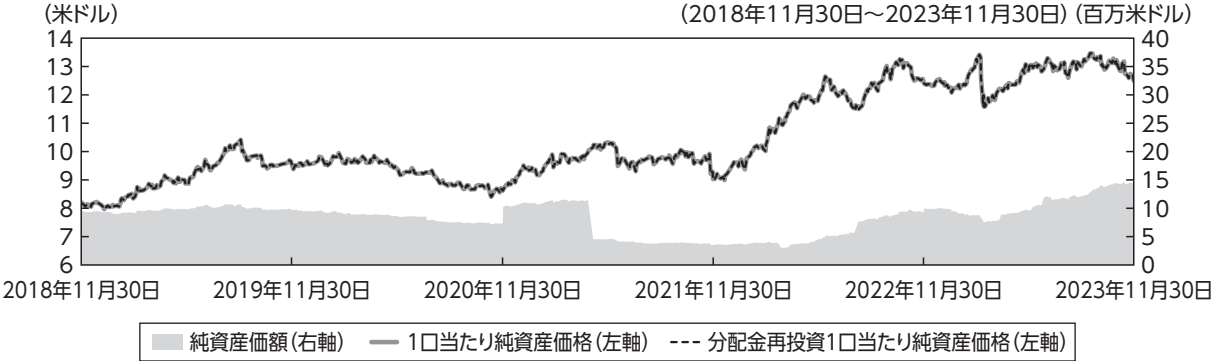
| 項目         | 年率／金額                                                                                                                                                                                                                                                               |                 | 項目の概要                                                                                                                        |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受託報酬       | 純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)                                                                                                                                                                                                                         |                 | ファンドに対して提供する、ファンドの資産の受託業務についての対価                                                                                             |
| 管理報酬       | 純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)                                                                                                                                                                                                                         |                 | ファンドに対して提供する、ファンドの資産の運用、管理およびファンドの受益証券の発行、買戻し業務等についての対価                                                                      |
| 管理事務代行報酬   | 純資産価額に応じて以下の料率を乗じて得た額 (ただし、年間89,000米ドルを最低額とします。)                                                                                                                                                                                                                    |                 | ファンドに対して提供する、ファンドの報酬および費用の算出、純資産価額の算出および発表、受益証券の申込みおよび買戻請求の処理、ファンドの主たる記録の維持、ファンドの報酬費用の支払いその他の管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務についての対価 |
|            | 純資産価額                                                                                                                                                                                                                                                               | 管理事務代行報酬料率 (年率) |                                                                                                                              |
|            | 250百万米ドル未満の部分                                                                                                                                                                                                                                                       | 0.08%           |                                                                                                                              |
|            | 250百万米ドル以上<br>500百万米ドル未満の部分                                                                                                                                                                                                                                         | 0.06%           |                                                                                                                              |
|            | 500百万米ドル以上の部分                                                                                                                                                                                                                                                       | 0.04%           |                                                                                                                              |
| 保管報酬       | 純資産価額の年率0.02%または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬                                                                                                                                                                                                                              |                 | ファンドに対して提供する、保管する証券の処理、評価および報告等の保管業務についての対価                                                                                  |
| 投資顧問報酬     | 純資産価額の年率0.63%                                                                                                                                                                                                                                                       |                 | ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および運用に関する業務についての対価                                                                                    |
| 副投資顧問報酬    | 基本報酬：共通ポートフォリオ <sup>(※1)</sup> の純資産価額の年率1.5%<br>成功報酬：さらに共通ポートフォリオの成功報酬控除前評価額が、その時点のハイウォーターマーク <sup>(※2)</sup> を超えた場合、その超過分の20%<br>(※1) 共通ポートフォリオとは、ファンドの資産から為替管理会社が行う為替取引の未実現損益を除いたポートフォリオをいいます。<br>(※2) ハイウォーターマークとは、過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後の評価額の最高値(設定当初は発行価額)をいいます。 |                 | ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および再投資に関する副投資運用業務についての対価                                                                              |
| 販売報酬       | 純資産価額の年率0.95%                                                                                                                                                                                                                                                       |                 | ファンドに対して提供する、日本における受益証券の販売・買戻しの取扱業務等の販売会社としての業務についての対価                                                                       |
| 代行協会員報酬    | 純資産価額の年率0.05%                                                                                                                                                                                                                                                       |                 | ファンドに対して提供する、受益証券一口当たり純資産価格の公表、運用報告書(全体版)のホームページにおける提供、および交付運用報告書その他の書類の日本における販売会社への配布等の代行協会員としての業務についての対価                   |
| その他の費用(当期) | ファンドの純資産価額の0.60%                                                                                                                                                                                                                                                    |                 | コミッション支払代行報酬、専門家報酬、登録・名義書換事務代行報酬、印刷費用、維持費用、登録費用等                                                                             |

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用・手数料の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



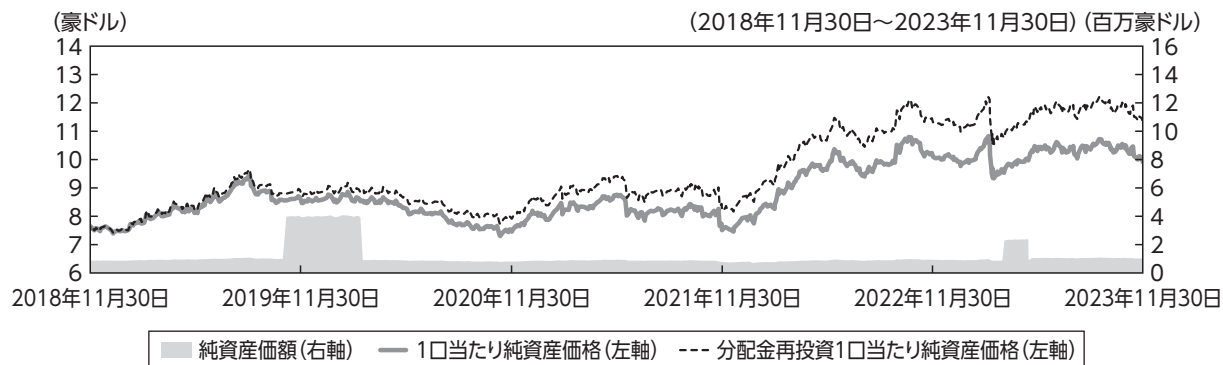
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

|                          | 第7期末<br>(2018年11月30日) | 第8期末<br>(2019年11月30日) | 第9期末<br>(2020年11月30日) | 第10期末<br>(2021年11月30日) | 第11期末<br>(2022年11月30日) | 第12期末<br>(2023年11月30日) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1口当たり純資産価格 (米ドル)         | 8.25                  | 9.66                  | 8.62                  | 9.03                   | 12.50                  | 12.63                  |
| 1口当たり分配金期中合計額 (米ドル)      | —                     | 0                     | 0                     | 0                      | 0                      | 0                      |
| 分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%) | —                     | 17.1                  | −10.8                 | 4.8                    | 38.4                   | 1.0                    |
| 純資産価額 (千米ドル)             | 9,605                 | 9,906                 | 7,324                 | 3,491                  | 9,065                  | 14,377                 |

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

## 豪ドルクラス



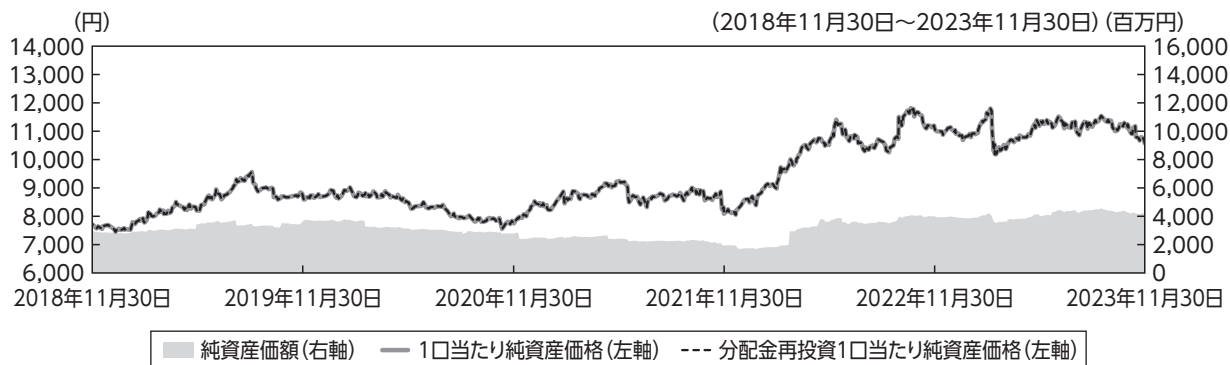
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

|                          | 第7期末<br>(2018年11月30日) | 第8期末<br>(2019年11月30日) | 第9期末<br>(2020年11月30日) | 第10期末<br>(2021年11月30日) | 第11期末<br>(2022年11月30日) | 第12期末<br>(2023年11月30日) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1口当たり純資産価格 (豪ドル)         | 7.68                  | 8.67                  | 7.46                  | 7.52                   | 10.18                  | 10.03                  |
| 1口当たり分配金期中合計額 (豪ドル)      | —                     | 0.24                  | 0.24                  | 0.24                   | 0.24                   | 0.16                   |
| 分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%) | —                     | 16.2                  | -11.4                 | 3.6                    | 39.1                   | 0.1                    |
| 純資産価額 (千豪ドル)             | 885                   | 4,028                 | 795                   | 741                    | 924                    | 1,014                  |

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

## 円クラス



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

|                          | 第7期末<br>(2018年11月30日) | 第8期末<br>(2019年11月30日) | 第9期末<br>(2020年11月30日) | 第10期末<br>(2021年11月30日) | 第11期末<br>(2022年11月30日) | 第12期末<br>(2023年11月30日) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1口当たり純資産価格 (円)           | 7,753                 | 8,807                 | 7,745                 | 8,088                  | 11,129                 | 10,691                 |
| 1口当たり分配金期中合計額 (円)        | —                     | 0                     | 0                     | 0                      | 0                      | 0                      |
| 分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%) | —                     | 13.6                  | -12.1                 | 4.4                    | 37.6                   | -3.9                   |
| 純資産価額 (千円)               | 2,945,093             | 3,445,332             | 2,778,776             | 1,936,174              | 3,979,550              | 4,134,322              |

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

## 投資環境について

2022年12月、FRB(米連邦準備制度理事会)はインフレ鈍化の兆候を示しながら、他の主要中央銀行と同様のタカ派的な基調を維持し、広く予想されていた50bpsの利上げを発表しました。12月の株式市場は下落し、高騰するインフレに対抗するために多くの中央銀行が積極的な利上げを実施したことによる大幅な下落が続いた1年を締めくくりました。その結果、米国の主要株価指数は2008年の金融危機以来、1年間で最悪の下げ幅を記録しました。国債利回りは全般的に上昇傾向となり、米国の10年物利回りは過去数十年で最大の年間上昇幅を記録して取引を終えました。コモディティ市場では、中国によるCOVID規制の緩和を受けて市場心理が好転しました。

FRBとECB(欧州中央銀行)のタカ派的なレトリックが続いたにもかかわらず、インフレの落ち着きから将来の利上げ幅縮小への期待が高まった結果、リスク性資産が上昇し、債券利回りが低下した形で2023年が始まりました。COVID規制の緩和を受けた中国経済の再開や、欧州の例年より温暖な天候が冬のエネルギー危機の回避に貢献したことで、金融市場のポジティブセンチメントはさらに高まりました。2月は、インフレの持続性をめぐる市場予想の転換が目立ちました。この急激な変化は、予想を上回るインフレ率の上昇と、予想を上回る労働市場のタイト化に起因しました。多くの経済指標が繰り返しアナリストの予想を上回ったため、投資家は将来のインフレと中央銀行の政策金利に対する予想を大幅に上方修正しました。3月には、2008年のワシントン・ミュージアル以来最大の銀行破綻となったシリコンバレー銀行の破綻を受けて、市場のコンセンサスは突然方向転換しました。このニュースは世界の銀行セクターの伝染リスクへの懸念を煽り、金利上昇が経済にもたらす潜在的な困難を浮き彫りにしました。その結果、国債利回りが過去数十年で最大の日次下落を記録し、債券セクターは極端なボラティリティに見舞われました。

その後の数か月は、マクロトレンドとして、中央銀行とインフレとの闘いが再び主流となりました。3月に見られた混乱による地方銀行へのストレスの影響がいくらか解消されると、市場は政策金利の引き上げと、現在の利上げサイクルがいつ終了するかに再び注目しました。市場が米国の債務上限交渉を注視し、デフォルト懸念がリスクセンチメントに重くのしかかるなか、さらなる不透明感が広がりました。米国のインフレ率は5月に緩和の兆しを見せましたが、雇用市場は引き続き堅調でした。FRBは5月に25bpsの利上げを継続しましたが、6月にはついに利上げを休止しました。しかしながら、FRBのガイダンスは不変で、さらなる利上げは否定されませんでした。他の中央銀行はFRBの利上げ休止に追従せず、BOE(イングランド銀行)は5月に25bpsの利上げ、そして6月には50bpsの大幅利上げに踏み切り、ECBは同期間に25bpsの利上げを2回実施しました。タカ派的なレトリックにもかかわらず、市場心理は人工知能とその応用の可能性をめぐる興奮で活況を呈し、メガキャップのテクノロジー株と各指数を押し上げました。しかし、テクノロジー関連銘柄の比率が低い米国以外の市場では、このような上昇は見られませんでした。その間、VIX指数で測定される株式市場のボラティリティは低下しました。もうひとつのテーマは、日本の金融政策が他の先進国市場とは異なり続けていることでした。イールドカーブコントロールの厳格な運用は、日本市場に劇的な影響を与えました。

2023年第3四半期に向け、投資家はFRBの金利上昇が長期化する可能性があるというスタンスにますます

同調するようになり、米国株と米国債は売られました。こうした見通しは、堅調な経済データと底堅い労働市場に影響されました。米国債の長期債発行が増加したこと、米国の財政赤字に対する懸念、インフレ率がFRBの目標を大幅に上回っていることも、国債利回りの上昇、特に長期債の上昇に繋がりました。サウジアラビア、ロシア、その他のOPECプラス加盟国による供給削減延長計画による原油価格の上昇は、株式市場のリスク心理をさらに低下させました。フィッチレーティングによる米国債格付けの引き下げや中国の経済データの不振も相まって、第3四半期のリスク心理は悪化しました。日本では、中央銀行が長年のイールドカーブコントロール政策を調整し、金利をより自律的に上昇させる意向を表明しました。

当レポート対象期間の最終月となる11月には、投資家のリスク性資産に対する意欲が急上昇しました。11月を通して発表された一連のデータは、米国経済が徐々に冷え込んでいる兆候を示しました。10月の米国のインフレ率と雇用増加率がともに鈍化し、ソフトランディングに向かうとの市場の見方が強まりました。FRBが利上げを据え置くことを決定し、月を通じてFRB関係者のハト派的なトーンがやや強まったことで、政策金利はピークを迎え、利下げが視野に入っているという市場の見方が強まりました。

## ■ ポートフォリオについて

ファンドの農産物へのネットロングポジションが収益をけん引しました。カカオ市場のロングポジションは、主要産地での生産不足が力強い価格上昇をけん引したため、ファンドにおいて最も収益の高い市場となりました。ファンドはまた、特に2023年前半に通貨セクターからも利益を上げました。中央銀行の金融政策のばらつきが通貨の動きに影響をあたえ、ファンドが保有する様々な欧州通貨に対するユーロのロングもしくはショートポジションは、トップクラスのパフォーマンスとなりました。エネルギー市場では、需給動向を受けて価格が全体的に下落したため、ファンドの天然ガス市場へのショートポジションがプラスとなりました。ファンドの損失は、2023年第1四半期、シリコンバレー銀行危機の発生後に集中しました。シリコンバレー銀行の危機は、中期的なマクロ経済トレンドと、当時のファンドの債券ネットショートポジション、株式のネットロングポジションに逆行するものでありました。2023年下半期には、投資家が金利に対する予想を頻繁に見直したため市場心理が変動し、株価指数がさらに損失を被りました。金属市場は年間を通じて波乱含みで、中期的なトレンド捕捉というファンド戦略の性質を踏まえると、厳しい環境となり、同市場からの損失に繋がりました。

## 分配金について

当期(2022年12月1日～2023年11月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。  
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落ち日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。

### 豪ドルクラス

| 分配落ち日        | 1口当たり純資産価格(豪ドル) | 1口当たり分配金額(豪ドル)<br>(対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> ) | 分配金を含む1口当たり<br>純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup> (豪ドル) |
|--------------|-----------------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 2022年12月15日  | 10.00           | 0.02<br>(0.20%)                                    | △0.16                                          |
| 2023年 1 月17日 | 9.92            | 0.02<br>(0.20%)                                    | △0.06                                          |
| 2023年 2 月15日 | 10.18           | 0.02<br>(0.20%)                                    | 0.28                                           |
| 2023年 3 月15日 | 9.35            | 0.02<br>(0.21%)                                    | △0.81                                          |
| 2023年 4 月17日 | 9.75            | 0.02<br>(0.20%)                                    | 0.42                                           |
| 2023年 5 月15日 | 9.97            | 0.02<br>(0.20%)                                    | 0.24                                           |
| 2023年 6 月15日 | 10.36           | 0.02<br>(0.19%)                                    | 0.41                                           |
| 2023年 7 月18日 | 10.33           | 0.02<br>(0.19%)                                    | △0.01                                          |
| 2023年 8 月15日 | 10.44           | 0.00<br>(0.00%)                                    | 0.11                                           |
| 2023年 9 月15日 | 10.72           | 0.00<br>(0.00%)                                    | 0.28                                           |
| 2023年10月16日  | 10.37           | 0.00<br>(0.00%)                                    | △0.35                                          |
| 2023年11月15日  | 10.11           | 0.00<br>(0.00%)                                    | △0.26                                          |

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落ち日における1口当たり分配金額

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額

c=当該分配落ち日の直前の分配落ち日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3) 2022年12月15日の直前の分配落ち日(2022年11月15日)における1口当たり純資産価格は、10.18豪ドルでした。

## 今後の運用方針

2024年に向けて、引き続き不透明な状況が続いています。次の10年は、過去4年とはまったく異なる様相を呈するでしょう。かつて株式や債券の目覚ましい強気相場をけん引した強力な追い風は、より熱を帯びた予測不可能な環境へと変化しています。システムティック運用会社として、私たちは未来を予想しようとはしません。副投資顧問会社であるアспект・キャピタル・リミテッド(以下「アспект」といいます。)は、過去25年間のリサーチ主導のアプローチに基づき、市場環境の変化に対応できるよう、戦略の質を進化・向上させ続けます。アспектは、これまで同様、お客様に流動性の高い分散投資を提供できるものと確信しています。

このような状況の中、当ファンドのモデルが競争力を保つための緻密なリサーチを続け、投資家の皆様へ良好な運用成果を届けることを目指してまいります。これまでのリサーチにおける経験と更なるトレンドフォロー戦略の改善、そして様々な投資環境の中で培ってきた当ファンドのトラックレコードを合わせることで、今後も投資家の皆様のポートフォリオに多様性をもたらすことができると考えております。

## お知らせ

管理会社は、2023年10月6日にその名称をクイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッドからクイーンズゲートに変更しました。

## ファンドの概要

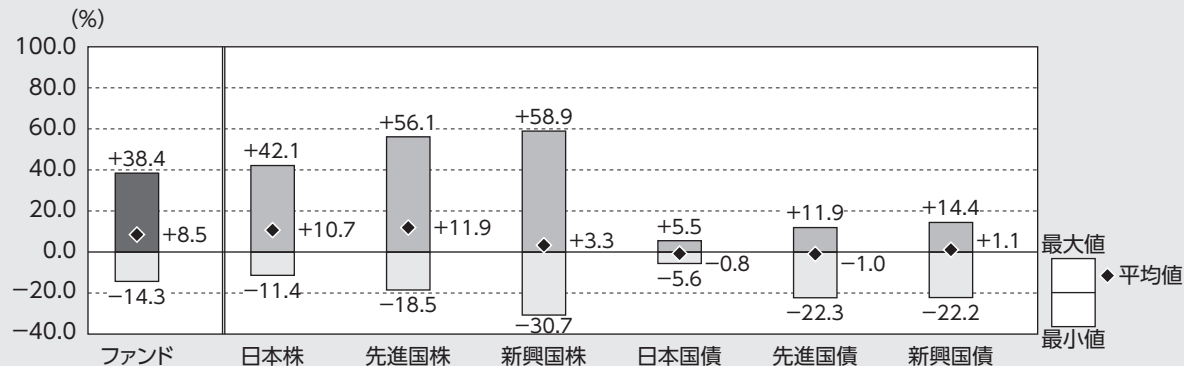
|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファンド形態    | ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 信託期間      | <p>ファンドは2025年11月28日に終了します*。(ただし、それ以前に繰上償還される場合があり、また、受託銀行と協議の上での管理会社の決定により、またはファンド受益者決議により、信託期間を延長する場合があります。)なお、ファンドの設定日は、2012年3月16日です。</p> <p>※管理会社において、受託銀行と協議の上、2024年6月1日を効力発生日として、ファンド終了日を2030年11月28日に変更する旨が決定されました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 運用方針      | ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 主要投資対象    | 国際的な先物契約および先渡契約(商品先物および通貨先渡しを含みます。)、債券および短期金融商品(リバースレポ取引を含みます。)ならびにその他の派生商品。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| ファンドの運用方法 | <p>管理会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、投資顧問契約に基づき、投資顧問会社であるアセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッドに委託しています。</p> <p>投資顧問会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、副投資顧問契約に基づき、副投資顧問会社であるアспект・キャピタル・リミテッドに委託しています。</p> <p>副投資顧問会社は、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産(株式、株価指数、債務証券(債券を含みます。)、通貨、金利および商品(エネルギー、金属および農産品を含みます。))を含みますが、これに限定しません。)の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。また、投資顧問会社は、ファンドについて米ドルを売却し、取引対象通貨を購入するクラス為替取引に関する業務を、為替管理契約に基づき、為替管理会社であるザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンに委託しています。副投資顧問会社は、米ドル以外の通貨建の債券および短期金融商品へ投資する場合、投資通貨を売却し、米ドルを購入する為替取引を行う予定です。また、副投資顧問会社は、ファンドのため、投資運用から生じる米ドル以外の通貨建ての損益を、米ドルに換金する取引を日常的に実行します。</p> |
| 分配方針      | <p>収益分配は、投資顧問会社の裁量により行われます。</p> <p>分配基準日: 分配落日の前ファンド営業日</p> <p>分配金支払日: 分配落日から起算して原則として7ファンド営業日目以降</p> <p>豪ドルクラスに関しては、分配金支払日がオーストラリア営業日*に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。</p> <p>日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。</p> <p>※「オーストラリア営業日」とは、シドニーの銀行が営業を行う日(土曜日および日曜日を除きます。)または投資顧問会社と協議の上、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |

## 参考情報

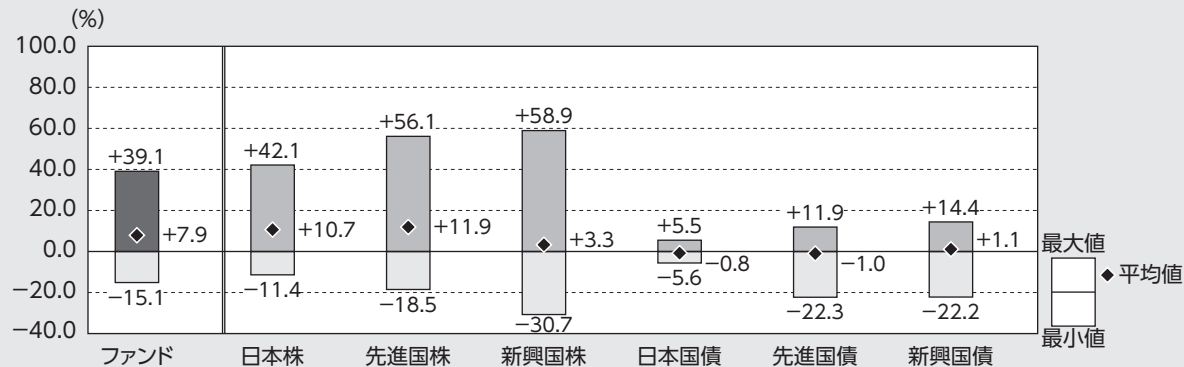
## ■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

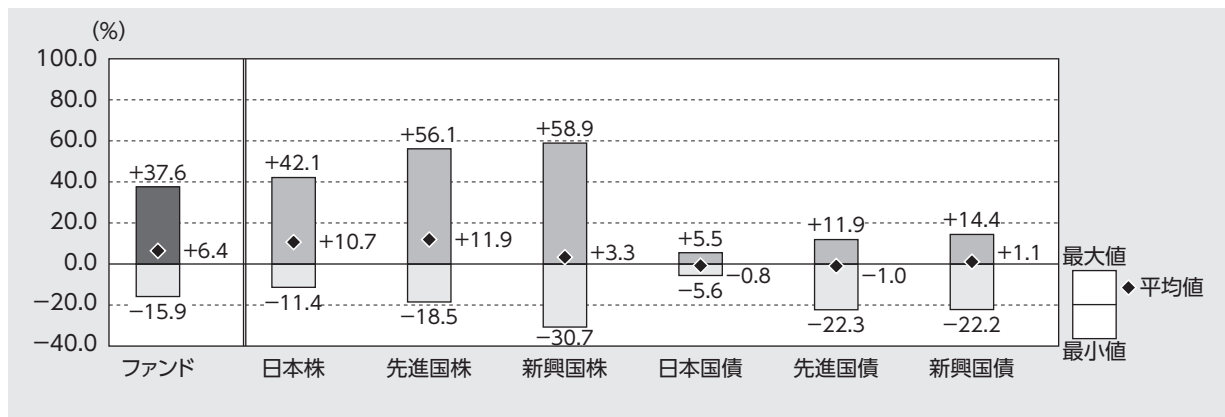
## 米ドルクラス



## 豪ドルクラス



## 円クラス



- すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2019年4月から2024年3月までの5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- ファンドの各クラスの騰落率は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして計算しています。なお、米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。また、各クラスの通貨建てで計算しており、円換算されておりません。したがって、米ドルクラスおよび豪ドルクラスについては、円換算した場合、グラフとは異なる騰落率となります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株:東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし)

日本国債:Morningstar日本国債指数 (円ベース)

先進国債:Morningstarグローバル国債指数 (除く日本、米ドルベース)

新興国債:Morningstar新興国ソブリン債指数 (米ドルベース)

東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数 (TOPIX) の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし) は、MSCI Inc. が開発した指数でMSCI Inc. の知的財産であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。MSCI Inc. では、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

Morningstar日本国債指数 (円ベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

Morningstarグローバル国債指数 (除く日本、米ドルベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

Morningstar新興国ソブリン債指数 (米ドルベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

DIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド (以下、「当ファンド」といいます) は、Morningstar, Inc., 又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. の関連会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」といいます) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な内外債券市場の騰落率と連動するMorningstarインデックスの能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、クイーンズゲート (以下、「管理会社」といいます) とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」といいます) の使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが管理会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、管理会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、管理会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## ファンドデータ

\*クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

### ■ファンドの組入資産の内容(第12期末現在)

#### ◆組入上位資産

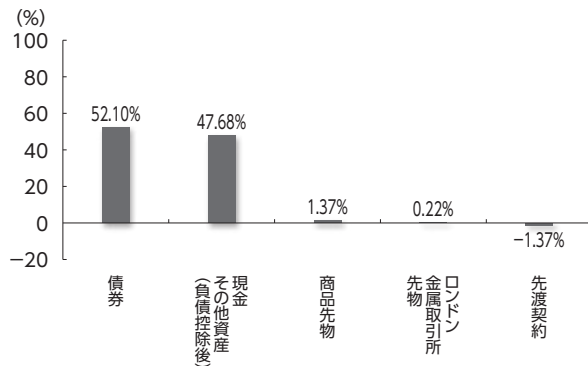
(組入銘柄数: 265銘柄)

|    |                                        | 組入比率  |
|----|----------------------------------------|-------|
| 1  | United States Treasury Bill 05/16/2024 | 8.86% |
| 2  | United States Treasury Bill 02/22/2024 | 8.40% |
| 3  | United States Treasury Bill 01/25/2024 | 7.28% |
| 4  | United States Treasury Bill 08/08/2024 | 6.97% |
| 5  | United States Treasury Bill 04/18/2024 | 6.62% |
| 6  | United States Treasury Bill 07/11/2024 | 5.57% |
| 7  | United States Treasury Bill 03/21/2024 | 4.58% |
| 8  | United States Treasury Bill 10/03/2024 | 3.82% |
| 9  | COCOA FUTURE Mar24                     | 0.71% |
| 10 | USD per JPY                            | 0.59% |

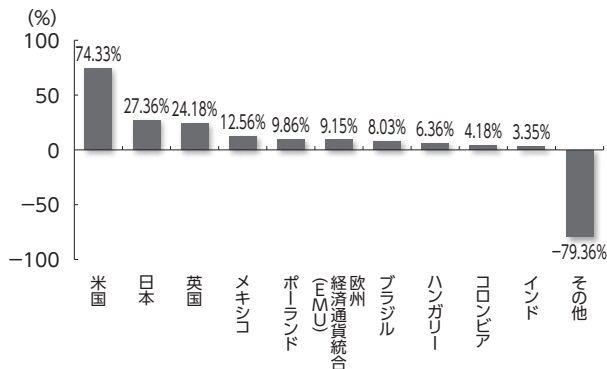
(注1) 組入比率は純資産価額に対する各組入資産の評価額の割合で、絶対値が大きい銘柄を記載しています。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

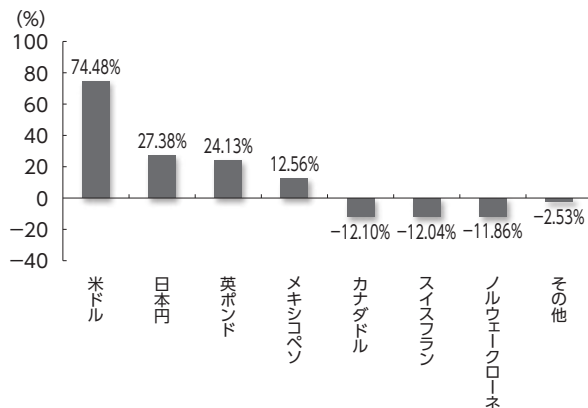
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 組入比率は純資産価額に対する各組入資産の評価額の割合です。国別配分については、構成比率が1%未満の項目を「その他」に分類しています。  
通貨別配分については、構成比率の絶対値が大きい項目を記載し、10%未満の項目を「その他」に分類しています。
- (注2) 上記グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

## ■純資産等

### 米ドルクラス

| 項 目        | 第12期末      |
|------------|------------|
| 純資産価額      | 14,377千米ドル |
| 発行済口数      | 1,138,106口 |
| 1口当たり純資産価格 | 12.63米ドル   |

| 第12期                 |                      |                          |
|----------------------|----------------------|--------------------------|
| 販売口数                 | 買戻口数                 | 発行済口数                    |
| 708,691<br>(708,691) | 295,600<br>(295,600) | 1,138,106<br>(1,138,106) |

### 豪ドルクラス

| 項 目        | 第12期末     |
|------------|-----------|
| 純資産価額      | 1,014千豪ドル |
| 発行済口数      | 101,132口  |
| 1口当たり純資産価格 | 10.03豪ドル  |

| 第12期                 |                      |                      |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| 販売口数                 | 買戻口数                 | 発行済口数                |
| 158,304<br>(158,304) | 147,926<br>(147,926) | 101,132<br>(101,132) |

### 円クラス

| 項 目        | 第12期末       |
|------------|-------------|
| 純資産価額      | 4,134,322千円 |
| 発行済口数      | 386,722口    |
| 1口当たり純資産価格 | 10,691円     |

| 第12期               |                    |                      |
|--------------------|--------------------|----------------------|
| 販売口数               | 買戻口数               | 発行済口数                |
| 69,680<br>(69,680) | 40,532<br>(40,532) | 386,722<br>(386,722) |

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。